

## 日本スポーツ産業学会第29回大会開催される

第29回大会は、年初からのコロナ禍のため当初の早稲田大学での5月開催を延期した上で、2020年7月11日(土)と12日(日)にオンライン開催にて行われました。初めてのオンライン開催でしたが、参加申込者は総数177名（内有料参加者数：117名〔正会員：88名、学生会員：13名、非会員一般：13名、非会員学生：3名〕となりました。これもひとえに、早稲田大学をはじめとする大会実行委員会の皆様および関係者の方々の多大なるご尽力の賜物と感謝申し上げます。

尚、例年総会後に行われておりました学会賞授与式は今回は行われませんでした。令和元年度の受賞論文は次の通りです。

## ○学会賞論文…副賞10万円

- ・「GNSSを利用したスポーツデータ分析フレームワークの設計」

中島 円（慶應義塾大学）、太田千尋、神武直彦 共著（『スポーツ産業学研究』第29巻第2号掲載）

## ○奨励賞論文…副賞各5万円

- ・「サッカー競技者の複数対象追跡スキルレベルによる視覚探索方略の違い」

古門良亮（九州工業大学）、磯貝浩久（九州産業大学）共著（第29巻第2号掲載）

- ・「大学トップクラスのテニス選手がチームでの活動を通じて獲得したライフスキル-対人スキルに着目して-」

野沢絵梨（慶應義塾大学）、大谷俊郎 共著（第29巻第4号掲載）



中島 円氏



古門良亮氏



野沢絵梨氏

## ◇ も く じ ◇

|                   |    |
|-------------------|----|
| ・ 第29回学会大会プログラム   | 2  |
| ・ 第62回理事会報告       | 2  |
| ・ 第30回総会報告        | 3  |
| ・ スポーツICT研究会開催報告  | 18 |
| ・ 事務局より           | 19 |
| ・ 『スポーツ産業学研究』原稿募集 | 20 |

# 第29回学会大会プログラム

1. 会 期：2020年7月11日(土)～12日(日)
2. 会 場：早稲田大学（オンライン開催）
3. テーマ：「スポーツ産業のイノベーション」

## 4. 日程

### 【7月11日(土)】

12:30 理事会

13:45 基調講演

「プロスポーツリーグ経営と今後のスポーツイノベーション研究の方向性」

大河正明（びわこ成蹊スポーツ大学 副学長兼 大阪成蹊大学スポーツイノベーション研究所 所長）

司会：間野義之（早稲田大学スポーツ科学学術院 教授）

15:00 日本スポーツ産業学会30周年記念イベント  
座談会「30年を振り返る～スポーツ産業学の今、そしてこれから～」

尾山 基（日本スポーツ産業学会 共同会長・株式会社アシックス 代表取締役会長CEO）

平田竹男（日本スポーツ産業学会 共同会長・早稲田大学スポーツ科学学術院 教授）

北村 薫（日本スポーツ産業学会 理事長・順天堂大学 名誉教授）

司会：中村好男（日本スポーツ産業学会 運営委員長・早稲田大学スポーツ科学学術院 教授）

17:00 総会

### 【7月12日(日)】

10:00～14:00 一般研究発表（2会場：25題）

## 第62回理事会報告

日 時：2020年7月11日(土) 12時30分～13時25分

場 所：オンライン

出席者（敬称略）：

会 長 尾山 基

理事長 北村 薫

理 事 池田 弘（代理：高橋孝輔）、井上智治、佐野毅彦、高橋義雄、武内紀子、次原

悦子、中村 潔（代理：伊地知直亮）、中村好男、原田宗彦、藤原庸介、松尾哲矢、間野義之、三木谷浩史（代理：小木曾稔）、水野明人（代理：板橋健児）、水野利昭、渡邊一利

監 事 栗山貴行、得田進介

オブザーバー：

運営委員 東 俊介、石黒えみ、磯貝浩久、井上俊也、上田滋夢、宇藤智子、越川茂樹、児玉ゆう子、佐々木達也、佐藤 潤、澤井和彦、庄子博人、新戸明子、田中弘一、辻 武伺、長井延裕、新井野洋一、服部 宏、梁瀬和人

九州産業大学 西崎信男

北村理事長による開会宣言後、尾山会長より挨拶がなされた。

理事会の成立（出席者17人（含代理出席）、委任状提出者1人）が確認され、議事録署名人として藤原理事、渡邊理事が指名された。

### 議題1）第61回理事会事録確認

第61回理事会議事録が確認された。

### 議題2）2019年度事業報告について

北村理事長の指名により、中村好男理事（運営委員長）より資料－1に基づき2019年度実施事業について説明がなされ、原案通りこれを総会へ上程することが承認された。

### 議題3）2019年度収支決算報告書について

北村理事長の指名により、佐野理事（運営副委員長・総務委員長）より資料－2に基づき2019年度収支決算について説明がなされた。続いて得田監事より監査報告がなされ、原案通りこれを総会へ上程することが承認された。

北村理事長より、第4議題及び第5議題に先立ち、第6議題を審議したい旨提案があり、これが認められた。

### 議題6）COVID-19研究プロジェクトの共同実施について

北村理事長の指名により、間野理事より資料－

5に基づき「感染症対策下における国民のスポーツ観戦需要に関する研究」について説明がなされ、審議の結果、これが承認された。

#### 議題4) 2020年度事業計画について

前回理事会にて承認された2020年度事業計画(資料-3)を総会へ上程することが確認された。

#### 議題5) 2020年度収支予算書について

2019年度収支予算書(資料-4)を総会へ上程することが確認された。

北村理事長の指名により、佐野理事より資料に基づき、前回理事会にて承認された2020年度収支予算に第6議題を踏まえた特別プロジェクト研究費を追加計上した案について説明がなされ、審議の結果、原案通りこれを総会へ上程することが承認された。

#### 議題7) 第30回学会大会(2021年度)の開催について

北村理事長の指名により、高橋理事(運営副委員長・大会委員長)から資料に基づき、前回理事会で承認された九州産業大学主管の第30回学会大会の会期(2021年7月10日(土)~11日(日))について説明がなされ、審議の結果、原案通りこれを総会へ上程することが承認された。続いて、実行委員長就任予定の西崎信男氏より挨拶がなされた。

北村理事長の閉会宣言があり、理事会を終了した。

以上

## 第30回総会報告

日本スポーツ産業学会第30回総会は、2020年7月11日17時00分より、オンライン開催された。

### 1. 総会の出席者

第30回総会は、正会員47人(開会時)の出席、50人の委任状により成立した。

### 2. 議事の運営

総会は、佐野毅彦理事の開会宣言および司会で開会され、北村薫理事長の挨拶がなされた。北村

理事長が議長に任に就いた。議案及び審議概略は以下の通りである。

### 3. 議題

#### 1) 2019年度事業報告について

議長の指名により、中村好男理事・運営委員長より資料-1に基づき2019年度に実施した事業について説明がなされ、原案通りこれが承認された。

#### 2) 2019年度収支決算報告書について

議長の指名により、佐野毅彦理事・運営副委員長より資料-2に基づき2019年度収支決算について説明がなされ、続いて、得田進介監事より資料に基づく監査結果の説明がなされ、原案通りこれが承認された。

#### 3) 2020年度事業計画について

議長の指名により、中村理事・運営委員長より資料-3に基づき2020年度事業計画案の提案がなされ、原案通りこれが承認された。

#### 4) 2020年度収支予算書について

議長の指名により、佐野理事・運営副委員長より資料-4に基づき2020年度予算案が提案され、原案通りこれが承認された。

#### 5) COVID-19研究プロジェクトの共同実施について

議長の指名により、間野義之理事より資料-5に基づく提案がなされ、原案通りこれが承認された。共同研究者を代表して庄子博人運営委員より挨拶がなされた。

#### 6) 第30回学会大会(2021年)の開催について

議長の指名により、高橋義雄理事・運営副委員長より資料に基づき九州産業大学主管での開催(会期:2021年7月10日(土)~11日(日))が提案され、原案通りこれが承認された。続いて、実行委員長就任予定の西崎信男氏より挨拶がなされた。

議長の閉会宣言により、総会は閉会した。

以上

## (資料－1)

# 2019年度事業報告

2019年度の実施事業は以下の通りである。

## 1. 学会組織の整備・充実・運営に関する事業

### (1)会議の開催

- ・第29回総会を開催した（2019年7月27日、於・日本体育大学 世田谷キャンパス）。
- ・第60回理事会を開催した（2019年7月27日、於・日本体育大学 世田谷キャンパス）。
- ・第61回理事会を開催した（2020年2月16日、於・同志社大学 室町キャンパス）。
- ・運営委員会を2回開催した（2019年6月24日、2020年1月27日）。

### (2)事務局機能の整備・充実

- ・ウェブサイト (<https://spo-sun.gr.jp/>) を活用した情報発信を行った。

### (3)会員の維持・拡充

- ・会員数（2020年3月31日現在）は以下の通りであった。
  - －正会員529人（前年度比6人増）
  - －学生会員91人（前年度比2人増）
  - －法人会員9団体（前年度比1団体増）
  - －賛助会員20団体（前年度比2団体減）

## 2. 出版事業

- ・学会誌『スポーツ産業学研究』を以下の通り発行した。
  - －第29巻第2号（2019年4月1日；原著論文5編，研究ノート1編）
  - －第29巻第3号（2019年7月1日；原著論文1編，研究ノート3編）
  - －第29巻第4号（2019年10月1日；フォーラム2編，原著論文3編，研究ノート2編，スポーツ関連大学の入試情報一覧（2019年度））
  - －第30巻第1号（2020年1月1日；原著論文2編，研究ノート5編，第28回大会アイデアコンペ論文8編）
- ・学会誌『スポーツ産業学研究』（第29巻第2号～第4号，第30巻第1号）の掲載論文を科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）

にて公開した。

- ・『学会ニュース』No.109からNo.112を，それぞれ学会誌第29巻第2号から第30巻第1号と合本して発行し，さらにウェブサイトに掲載した。
- ・情報誌『Sports Business & Management Review』を以下の通り発行した。
  - －第10号（2019年4月1日）
  - －第11号（2019年7月1日）
  - －第12号（2019年10月1日）
  - －第13号（2020年1月1日）

## 3. 学会大会の開催

### (1)学会大会

- ・第28回大会（2019年7月27日～28日，於・日本体育大学 世田谷キャンパス）を開催した。
  - －参加人数：151人（うち有料入場者134人〔正会員93人，学生会員25人，非会員一般9人，非会員学生7人〕）
  - －メインテーマ  
「令和時代のスポーツ産業」社会，技術，地域，メディア，そしてスポーツの価値
  - －アイデアコンペ
    - スポーツ庁長官賞  
「タレントシェアリングによる普及・強化・育成システムの構築」  
大崎恵介（山梨学院大学），藤原優司，小山さなえ
    - 日本スポーツ産業学会会長賞  
「スポーツチームの地域包括ケアシステム参入による地域貢献と財源増加策  
－税金の有効活用と3rdプレイスの創出－」  
角田泰明（帝京大学），川上祐司
  - －シンポジウム1  
「アーバンスポーツとeスポーツの魅力と可能性」  
【シンポジスト】  
針谷和昌氏  
（一般社団法人日本アーバンスポーツ支援協議会 専務理事）  
羽染貴秀氏  
（一般社団法人日本eスポーツ連合 ディレクター）  
古澤明仁氏  
（株式会社RIZeST 代表取締役）

#### 【モデレーター】

澤井和彦氏（明治大学商学部 准教授）

#### －シンポジウム 2

「ラグビーワールドカップ2019のマーケティングとレガシー」

#### 【シンポジスト】

鶴田友晴氏

（公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会事務総長代理）

渡辺昌之氏

（三菱地所株式会社ラグビーワールドカップ2019プロジェクト推進室室長）

篠 祐次氏

（東京都ラグビーワールドカップ2019準備担当部長）

#### 【モデレーター】

松瀬 学氏

（日本体育大学、元ラグビーワールドカップ2019組織委員会広報戦略長）

－研究発表：40題（一般演題：35題，企画コンペ：5題）

－企画コンペポスター発表：15題

#### (2)冬季学術集会

・第7回冬季学術集会（2020年2月16日，於・同志社大学 室町キャンパス）を開催した。

－参加人数：97人

#### －シンポジウム

「スポーツ産業が創る地域の未来～ポスト・ゴールデン・スポーツイヤーズの可能性～」

#### 【シンポジスト】

山田啓二

（京都産業大学学長補佐・法学部教授，京都府スポーツ協会会長，前京都府知事，前全国知事会会長）

中村孝昭

（クロススポーツマーケティング株式会社代表取締役社長，ゼビオホールディングス株式会社副社長執行役員）

藤本淳也

（大阪体育大学学長補佐・大学院スポーツ科学研究科スポーツマネジメント分野 教授）

#### 【モデレーター】

上田滋夢（追手門学院大学社会学部 教授）

－リサーチ・カンファレンス2019（研究発表数：35題）

①日本スポーツ産業学会賞（若手研究者育成セッション：大学院生）

#### ○奨励賞

「水泳観戦者の客観的満足度の研究－事前情報の有無による満足度の変化に着目して－」

木原沙織（鹿屋体育大学大学院）

#### ○奨励賞

「スポーツ指導者が抑うつ傾向に陥るプロセス：アイデンティティフィーに注目して」

八尋風太（鹿屋体育大学大学院）

②笹川スポーツ財団賞（卒論セッション：学部4回生）

#### ○優秀賞

「質的研究を用いた阪神タイガースのコアファン形成要因の調査」

加藤佑典（同志社大学）

#### ○奨励賞

「Jリーグ観戦リテラシー尺度と観戦行動の変容ステージの関連および観戦行動の変容ステージのステージ移行方策の検討」

松村明樹（同志社大学）

#### ○奨励賞

「自転車ブランドに対するレピュテーション・エクイティ・製品満足がブランド・リレーションシップ，行動的ロイヤリティ，他人推奨，再購買意図へ及ぼす影響」

奥田 耀（びわこ成蹊スポーツ大学）

③日本スポーツボランティアネットワーク賞（卒論セッション：学部4回生）

#### ○優秀賞 高野蓮汰（帝京大学）

「総合型地域スポーツクラブの「あるべき姿」と運営モデルの構築に向けて－「NPO法人 はちきたSC」でのインターンシップを通して－」

#### ○奨励賞 金子 舞（早稲田大学）

「Tリーグにおける選手のレベルが観客動員数に与える影響」

#### 4. セミナー等の開催

(1)スポーツICT研究会を9回開催した。

－「日本ハムファイターズ・ボールパーク構想から考える新たなスポーツ観戦環境 第一



弾：北海道ボールパーク（仮称）構想におけるICT戦略」

話題提供者：森岡裕史氏（株式会社北海道日本ハムファイターズ事業統括本部付アドバイザー）

開催日：2019年5月14日

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス  
3号館 304教室

参加人数：71人（学会員19人, 非学会員52人）

－「新時代のスポーツ映像サービス」

話題提供者：木谷 靖氏（NTTプララ 技術本部 サービス開発部長）

開催日：2019年6月11日

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス  
3号館 405教室

参加人数：41人（学会員18人, 非学会員23人）

－「eスポーツアリーナの可能性とIT環境の役割《第一弾》」

話題提供者：岩瀬功樹氏（梓設計）

影澤潤一氏

（NTT東日本 ビジネス開発本部）

古澤明仁氏

（RIZeST代表取締役/日本eスポーツ連合 広報・国際委員会委員長）

開催日：2019年7月9日

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス  
3号館 405教室

参加人数：25人（学会員8人, 非学会員17人）

－「ボールパーク構想から考える新たなスポーツ観戦環境」（第二弾）

開催日：2019年7月19日

場所：札幌ドーム

－「5GとWi-Fiが共存するスタジアム空間の創出～課題と展望～」

話題提供者：古川 浩氏（PicoCELA株式会社）

開催日：2019年10月8日

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス  
3号館 305教室

参加人数：27人（学会員17人, 非学会員10人）

－「スタジアム・アリーナにおけるICT活用のネクストステージとは？」

話題提供者：河本敏夫氏

（株式会社NTTデータ経営研究

所 情報戦略事業本部アソシエイト・パートナー）

上林 功氏

（追手門学院大学社会学部 准教授）

開催日：2019年10月29日

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス  
3号館 305教室

参加人数：32人（学会員14人, 非学会員18人）

－「沖縄アリーナにみるスポーツ観戦イノベーション」

話題提供者：山内 強氏（沖縄市役所・企画部参事兼プロジェクト推進室長）

開催日：2019年11月12日

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス  
3号館 305教室

参加人数：48人（学会員20人, 非学会員28人）

－「サンフレッチェ広島・新スタジアム構想～『まちなかスタジアム』の意義と地域連携～」

話題提供者：信江雅美氏（サンフレッチェ広島スタジアム総合戦略推進室長）

開催日：2019年12月17日

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス  
3号館 305教室

参加人数：50人（学会員19人, 非学会員31人）

－「街を活性化するスタジアム／アリーナのあるべきICTデザインと周辺エリアの活性化施策」

話題提供者：西條芳克氏（日本電気株式会社 トレード・サービスソリューション事業部）

開催日：2020年2月18日

場所：早稲田大学 国際会議場 3階  
第一会議室

参加人数：24人

(2) Sport Policy for Japan (SPJ) (2019年10月26日～27日, 於・立教大学池袋キャンパス) を開催した.

－参加人数：24大学, 62チーム, 328名の学生

－受賞結果について

○最優秀賞：1件

「スポーツ界の指導的地位におけるジェンダーフリーを目指して～輝け！女性活躍推進プログラム～」 東洋大学 山下ゼミB

○優秀賞：7件

「スポーツ指導者のための“かもしれない運動”-KYT（危険予知トレーニング）の適応を目指して-」

日本大学 アダプテッド・スポーツ科学研究室

「東京を歩こう2020」

明治大学 澤井ゼミC

「子どもの運動支援の為にプラットフォーム化計画～「放課後エレベスト事業」～」

立教大学 松尾ゼミAチーム

「ホストタウンの有意性を生かした地域創生プラン～TOKYO2020後の地方の在り方～」

神奈川大学 大竹ゼミナール3年チームS  
「大学スポーツと地域活性化の融合戦略」

立教大学 松尾ゼミBチーム

「孤立した高齢者を救え-犬を使った健康増進についての取り組み-」

神奈川大学 大竹ゼミナール3年チームP  
「友遊ボールでシンママを救え～Save the Fatherless family～」

明治大学 後藤ゼミB

○(株)協栄賞：1件

「児童虐待におけるスポーツ支援」

東海大学 秋吉ゼミB

○スポルテック賞：1件

「ホストタウンの有意性を生かした地域創生プラン～TOKYO2020後の地方の在り方～」

神奈川大学 大竹ゼミナール3年チームS

○笹川スポーツ財団賞：1件

「孤立した高齢者を救え-犬を使った健康増進についての取り組み-」

神奈川大学 大竹ゼミナール3年チームP

○特別賞：8件

「児童虐待におけるスポーツ支援」

東海大学 秋吉ゼミB

「AWASPORTS／あわスポーツ-新阿波おどりで徳島県復興-」

四国大学 大野ゼミ

「UNIVASから発信する環境保全ムーブメント～日本の大学スポーツに求められる持続可能性～」

東海大学 大津ゼミ

「中学武道必修化にともなう“する”相撲

振興策～“みる”相撲から“する”相撲へ～」  
神奈川大学 大竹ゼミナール3年チームJ  
「運動・スポーツによる高齢者ドライバーの交通事故減少を目指して～自動車教習所への新規事業「caringプログラム」の提案～」

亜細亜大学 石黒ゼミA

「大学を拠点とした総合型地域スポーツクラブへの支援策～神大クラブを事業モデルとして～」

神奈川大学 大竹ゼミB

「20代女性のスポーツ実施率向上に向けて～「20代女性 あ、これスポーツライフ!？」の提案～」

日本体育大学 日比野ゼミ

「Jリーグ社会連携プロジェクト推進強化-社会的価値評価水準の導入-」

神奈川大学 小倉ゼミ

(3)スポーツビジネスジャパン2019 together with  
スタジアム&アリーナ2019（2019年11月19日～20日、於・さいたまスーパーアリーナ）を開催した。

(4)学生向けセミナーを2回開催した。

-学生注目!! 大学スポーツの未来を考える学生の会～キックオフ・セミナー  
「米国NCAAのOne & Doneがあぶりだした大学スポーツの限界」

話題提供者：生島 淳氏(スポーツライター)

開催日：2019年6月18日

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス

3号館 405教室

-学生注目!! 大学スポーツの未来を考える学生の会《第二弾》

「箱根駅伝について考える」

話題提供者：生島 淳氏(スポーツライター)

開催日：2019年12月6日

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス

3号館 502教室

(5)ECSA（Entertainment Committee for STADIUM/ARENA）研究会を開催した。

-（第1回キックオフミーティング）「スポーツ×エンタテインメントによるスタジアム&アリーナの価値創造」

登壇者：田口禎則氏

（ECSA事務局長／（一社）日本トップリーグ連携機構 理事・事務局長

桂田隆行氏  
(日本政策投資銀行 地域企画部  
課長)

コーディネータ：長井延裕・中村好男

開催日：2020年1月20日

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス  
8号館 308教室

参加人数：71人

#### (6)専門分科会事業

- ・スポーツ産業史専門分科会に補助した。

### 5. 学会賞について

- ・第29回総会後に同会場にて学会賞の授与式を行った。

－学会賞（副賞10万円）

「夏季冬季・男女の違いによる日本のオリンピック選手の競技引退理由の量的調査」

ウルヴェ 京（慶應義塾大学），筒井 香  
（株式会社ポリゴン），神武直彦（慶應義塾

大学） [原著論文]（第28巻第4号掲載）

－奨励賞（副賞各5万円）

「発展途上国における障害者スポーツ振興への影響要因：タイ王国を事例として」

遠藤華英（早稲田大学），菅 文彦，舟橋  
弘晃，間野義之

[原著論文]（第28巻第3号掲載）

「プロスポーツクラブの求める人材」

田島良輝（大阪経済大学），西村貴之（金  
沢星稜大学），櫻井貴志，岡野紘二（株式  
会社日本能率協会コンサルティング），神  
野賢治（富山大学），佐々木達也（金沢星  
稜大学）

[研究ノート]（第28巻第1号掲載）

- ・第30回総会で授与が予定されている学会賞の候補論文を選考した。

### 6. その他

- ・学会のあり方を検討した。



## (資料－２)

## 2019年度収支決算報告書

(2020年３月31日現在)

(収入の部)

(単位：円)

| 科 目     |                            | 予 算 額      | 実 績        | 差 額      |
|---------|----------------------------|------------|------------|----------|
| 1.      | 入会金収入                      | 90,000     | 105,000    | 15,000   |
| a.      | 入会金収入                      | 90,000     | 105,000    | 15,000   |
| 2.      | 会費収入                       | 7,760,000  | 7,815,000  | 55,000   |
| a.      | 正会員会費収入                    | 3,100,000  | 3,661,000  | 561,000  |
| b.      | 学生会員会費収入                   | 160,000    | 154,000    | △6,000   |
| c.      | 法人会員会費収入                   | 500,000    | 500,000    | 0        |
| d.      | 賛助会員会費収入                   | 4,000,000  | 3,500,000  | △500,000 |
| 3.      | 寄付金・補助金収入                  | 0          | 50,000     | 50,000   |
| a.      | 寄付金・補助金収入                  | 0          | 50,000     | 50,000   |
| 4.      | 販売品収入                      | 2,050,000  | 2,020,500  | △29,500  |
| a.      | 掲載料・論文抜き刷り代金               | 2,000,000  | 1,832,500  | △167,500 |
| b.      | 図書等販売収入                    | 50,000     | 188,000    | 138,000  |
| 5.      | 学会大会収入                     | 1,675,000  | 1,475,000  | △200,000 |
| a.      | 参加費収入                      | 905,000    | 922,000    | 17,000   |
| b.      | 協賛金収入                      | 300,000    | 350,000    | 50,000   |
| c.      | 懇親会費収入                     | 320,000    | 201,000    | △119,000 |
| d.      | その他                        | 150,000    | 2,000      | △148,000 |
| 6.      | 冬季学術集会収入                   | 130,000    | 186,000    | 56,000   |
| a.      | 参加費                        | 0          | 0          | 0        |
| b.      | リサーチ・カンファレンス協賛金収入          | 130,000    | 186,000    | 56,000   |
| 7.      | 事業収入                       | 1,500,000  | 1,767,796  | 267,796  |
| a.      | セミナー事業収入                   | 1,500,000  | 1,059,660  | △440,340 |
| b.      | Sport Policy for Japan事業収入 | 0          | 708,136    | 708,136  |
| c.      | その他                        | 0          | 0          | 0        |
| 8.      | 雑収入                        | 1,100      | 140        | △960     |
| a.      | 預金利息                       | 100        | 140        | 40       |
| b.      | 雑収入                        | 1,000      | 0          | △1,000   |
| 収 入 合 計 |                            | 13,206,100 | 13,419,436 | 213,336  |

(支出の部)

(単位:円)

| 科 目           |                           | 予 算 額      | 実 績        | 差 額      |
|---------------|---------------------------|------------|------------|----------|
| 1. 学会組織の整備拡充費 |                           | 1,400,000  | 586,518    | △813,482 |
| a.            | 理事会会議費                    | 100,000    | 112,472    | 12,472   |
| b.            | 運営委員会会議費                  | 100,000    | 122,706    | 22,706   |
| c.            | ウェブサイト管理費                 | 400,000    | 351,340    | △48,660  |
| d.            | 広報活動費                     | 300,000    | 0          | △300,000 |
| e.            | ウェブシステム更新費                | 500,000    | 0          | △500,000 |
| 2. 出版事業費      |                           | 5,648,000  | 5,889,049  | 241,049  |
| a.            | 学会誌印刷・製本費                 | 3,200,000  | 3,176,502  | △23,498  |
| b.            | 学会誌編集費                    | 400,000    | 164,872    | △235,128 |
| c.            | 情報誌製作費                    | 1,800,000  | 2,110,096  | 310,096  |
| d.            | 発送費                       | 248,000    | 437,579    | 189,579  |
| 3. 学会大会開催費    |                           | 1,675,000  | 1,390,483  | △284,517 |
| a.            | 会場費                       | 50,000     | 0          | △50,000  |
| b.            | 懇親会費                      | 545,000    | 237,210    | △307,790 |
| c.            | 印刷費                       | 250,000    | 207,900    | △42,100  |
| d.            | 講師関係費                     | 200,000    | 280,065    | 80,065   |
| e.            | 外国人講師関係費                  | 0          | 0          | 0        |
| f.            | 実行委員会関係費                  | 0          | 0          | 0        |
| g.            | 事務局費                      | 600,000    | 665,308    | 65,308   |
| h.            | 予備費                       | 30,000     | 0          | △30,000  |
| 4. 冬季学術集会開催費  |                           | 580,000    | 472,772    | △107,228 |
| a.            | 会場費                       | 200,000    | 0          | △200,000 |
| b.            | 昼食会費                      | 50,000     | 50,400     | 400      |
| c.            | 印刷費                       | 100,000    | 119,020    | 19,020   |
| d.            | 事務局経費                     | 100,000    | 65,874     | △34,126  |
| e.            | 事業費                       | 130,000    | 237,478    | 107,478  |
| 5. 事業費        |                           | 420,000    | 863,044    | 443,044  |
| a.            | セミナー事業費                   | 300,000    | 349,780    | 49,780   |
| b.            | カンファレンス事業費                | 50,000     | 884        | △49,116  |
| c.            | 専門分科会事業費                  | 20,000     | 20,270     | 270      |
| d.            | Sport Policy for Japan事業費 | 0          | 489,324    | 489,324  |
| e.            | その他事業費                    | 50,000     | 2,786      | △47,214  |
| 6. 国際交流事業費    |                           | 0          | 0          | 0        |
| a.            | 海外研究者招聘費                  | 0          | 0          | 0        |
| 7. 表彰事業費      |                           | 210,000    | 213,166    | 3,166    |
| a.            | 学会賞表彰事業費                  | 210,000    | 213,166    | 3,166    |
| 8. 事務局費（管理費）  |                           | 3,680,000  | 3,936,059  | 256,059  |
| a.            | 交通費                       | 350,000    | 515,836    | 165,836  |
| b.            | 消耗品費                      | 200,000    | 96,491     | △103,509 |
| c.            | 通信費                       | 300,000    | 337,516    | 37,516   |
| d.            | 人件費                       | 2,800,000  | 2,956,013  | 156,013  |
| e.            | 雑費                        | 30,000     | 30,203     | 203      |
| 9. 予備費        |                           | 0          | 0          | 0        |
| a.            | 予備費                       | 0          | 0          | 0        |
| b.            | 特別プロジェクト研究費               | 0          | 0          | 0        |
| 支 出 合 計       |                           | 13,613,000 | 13,351,091 | △261,909 |
| 収 支 差 額       |                           | △406,900   | 68,345     | 475,245  |
| 前 期 繰 越 金     |                           | 19,817,094 | 19,817,094 | 0        |
| 次 期 繰 越 金     |                           | 19,410,194 | 19,885,439 | 475,245  |

## 2020年度事業計画

### 1. 学会組織の整備・充実・運営

#### (1)会議の開催

- ・総会（第30回）
- ・理事会（第62回・第63回）
- ・運営委員会（２～３回の予定）

#### (2)学会の広報

- ・ウェブサイト（www.spo-sun.gr.jp）の活用・充実
- ・展示会等への出展
- ・その他の広報活動

#### (3)事務機能の強化

- ・ウェブシステムの更新

〔参考〕正会員529人，学生会員91人，法人会員9  
団体，賛助会員20団体

（2020年3月末現在）

### 2. 機関誌，会報等の発行

#### (1)学会誌の発行

- ・『スポーツ産業学研究』（第30巻第2～第4号，第31巻第1号）
- ・『スポーツ産業学研究』掲載論文を「科学技術情報発信・流通総合システム」（J-STAGE）にて公開（第30巻第2～第4号，第31巻第1号）

#### (2)情報誌の発行

- ・『Sports Business & Management Review』

### 3. 学会大会の開催

#### (1)学会大会

- ・第29回学会大会（2020年7月11日(土)～12日(日)  
オンライン開催）

#### (2)冬季学術集会

- ・第8回冬季学術集会（2021年2月予定）

### 4. 研究会，講演会，公開講座等の開催

#### (1)スポーツ産業学セミナーの開催

#### (2)スポーツICT研究会の開催

#### (3)ECSA（Entertainment Committee for STADIUM/ARENA）研究会の開催

#### (4)学生向けセミナーの開催

#### (5)スポーツビジネスジャパンの開催

#### (6)Sport Policy for Japan（SPJ）の開催

#### (7)専門分科会への補助

#### (8)その他事業

- ・創立30周年記念イベントの開催（2020年10月予定）

### 5. 表彰事業

- ・学会賞の表彰
- ・学会賞候補論文の選考

### 6. その他

- ・産学連携事業の推進
- ・他団体主催イベントへの後援・協力

## (資料－４)

## 2020年度収支予算書

(2020年４月１日～2021年３月31日)

(収入の部)

(単位：円)

| 科目      |                            | 予 算 額      | 前年度予算額     | 差 額       |
|---------|----------------------------|------------|------------|-----------|
| 1.      | 入会金収入                      | 90,000     | 90,000     | 0         |
| a.      | 入会金収入                      | 90,000     | 90,000     | 0         |
| 2.      | 会費収入                       | 7,771,000  | 7,760,000  | 11,000    |
| a.      | 正会員会費収入                    | 3,409,000  | 3,100,000  | 309,000   |
| b.      | 学生会員会費収入                   | 162,000    | 160,000    | 2,000     |
| c.      | 法人会員会費収入                   | 800,000    | 500,000    | 300,000   |
| d.      | 賛助会員会費収入                   | 3,400,000  | 4,000,000  | △600,000  |
| 3.      | 寄付金・補助金収入                  | 0          | 0          | 0         |
| a.      | 寄付金・補助金収入                  | 0          | 0          | 0         |
| 4.      | 販売品収入                      | 1,600,000  | 2,050,000  | △450,000  |
| a.      | 掲載料・論文抜き刷り代金               | 1,300,000  | 2,000,000  | △700,000  |
| b.      | 図書等販売収入                    | 300,000    | 50,000     | 250,000   |
| 5.      | 学会大会収入                     | 1,675,000  | 1,675,000  | 0         |
| a.      | 参加費収入                      | 905,000    | 905,000    | 0         |
| b.      | 協賛金収入                      | 300,000    | 300,000    | 0         |
| c.      | 懇親会費収入                     | 320,000    | 320,000    | 0         |
| d.      | その他                        | 150,000    | 150,000    | 0         |
| 6.      | 冬季学術集会収入                   | 130,000    | 130,000    | 0         |
| a.      | 参加費                        | 0          | 0          | 0         |
| d.      | リサーチ・カンファレンス協賛金収入          | 130,000    | 130,000    | 0         |
| 7.      | 事業収入                       | 5,480,000  | 1,500,000  | 3,980,000 |
| a.      | セミナー事業収入                   | 1,500,000  | 1,500,000  | 0         |
| b.      | Sport Policy for Japan事業収入 | 980,000    | 0          | 980,000   |
| c.      | 学会創立30周年記念イベント収入           | 3,000,000  | 0          | 3,000,000 |
| d.      | その他                        | 0          | 0          | 0         |
| 8.      | 雑収入                        | 100        | 1,100      | △1,000    |
| a.      | 預金利息                       | 100        | 100        | 0         |
| b.      | 雑収入                        | 0          | 1,000      | △1,000    |
| 収 入 合 計 |                            | 16,746,100 | 13,206,100 | 3,540,000 |

注)

(支出の部)

(単位:円)

| 科 目           |                           | 予 算 額      | 前年度予算額     | 差 額        |
|---------------|---------------------------|------------|------------|------------|
| 1. 学会組織の整備拡充費 |                           | 1,130,000  | 1,400,000  | △270,000   |
| a.            | 理事会会議費                    | 80,000     | 100,000    | △20,000    |
| b.            | 運営委員会会議費                  | 100,000    | 100,000    | 0          |
| c.            | ウェブサイト管理費                 | 400,000    | 400,000    | 0          |
| d.            | 広報活動費                     | 50,000     | 300,000    | △250,000   |
| e.            | ウェブシステム更新費                | 500,000    | 500,000    | 0          |
| 2. 出版事業費      |                           | 5,850,000  | 5,648,000  | 202,000    |
| a.            | 学会誌印刷・製本費                 | 3,200,000  | 3,200,000  | 0          |
| b.            | 学会誌編集費                    | 400,000    | 400,000    | 0          |
| c.            | 情報誌製作費                    | 1,800,000  | 1,800,000  | 0          |
| d.            | 発送費                       | 450,000    | 248,000    | 202,000    |
| 3. 学会大会開催費    |                           | 1,675,000  | 1,675,000  | 0          |
| a.            | 会場費                       | 50,000     | 50,000     | 0          |
| b.            | 懇親会費                      | 545,000    | 545,000    | 0          |
| c.            | 印刷費                       | 250,000    | 250,000    | 0          |
| d.            | 講師関係費                     | 200,000    | 200,000    | 0          |
| e.            | 外国人講師関係費                  | 0          | 0          | 0          |
| f.            | 実行委員会関係費                  | 0          | 0          | 0          |
| g.            | 事務局費                      | 600,000    | 600,000    | 0          |
| h.            | 予備費                       | 30,000     | 30,000     | 0          |
| 4. 冬季学術集会開催費  |                           | 580,000    | 580,000    | 0          |
| a.            | 会場費                       | 200,000    | 200,000    | 0          |
| b.            | 昼食会費                      | 50,000     | 50,000     | 0          |
| c.            | 印刷費                       | 100,000    | 100,000    | 0          |
| d.            | 事務局経費                     | 100,000    | 100,000    | 0          |
| e.            | 事業費                       | 130,000    | 130,000    | 0          |
| 5. 事業費        |                           | 4,837,000  | 420,000    | 4,417,000  |
| a.            | セミナー事業費                   | 600,000    | 300,000    | 300,000    |
| b.            | カンファレンス事業費                | 50,000     | 50,000     | 0          |
| c.            | 専門分科会事業費                  | 20,000     | 20,000     | 0          |
| d.            | Sport Policy for Japan事業費 | 1,167,000  | 0          | 1,167,000  |
| e.            | 学会創立30周年記念イベント事業費         | 3,000,000  | 0          | 3,000,000  |
| f.            | その他事業費                    | 0          | 50,000     | △50,000    |
| 6. 国際交流事業費    |                           | 0          | 0          | 0          |
| a.            | 海外研究者招聘費                  | 0          | 0          | 0          |
| 7. 表彰事業費      |                           | 230,000    | 210,000    | 20,000     |
| a.            | 学会賞表彰事業費                  | 230,000    | 210,000    | 20,000     |
| 8. 事務局費（管理費）  |                           | 4,130,000  | 3,680,000  | 450,000    |
| a.            | 交通費                       | 600,000    | 350,000    | 250,000    |
| b.            | 消耗品費                      | 200,000    | 200,000    | 0          |
| c.            | 通信費                       | 300,000    | 300,000    | 0          |
| d.            | 人件費                       | 3,000,000  | 2,800,000  | 200,000    |
| e.            | 雑費                        | 30,000     | 30,000     | 0          |
| 9. 予備費        |                           | 3,000,000  | 0          | 3,000,000  |
| a.            | 予備費                       | 0          | 0          | 0          |
| b.            | 特別プロジェクト研究費               | 3,000,000  | 0          | 3,000,000  |
| 支 出 合 計       |                           | 21,432,000 | 13,613,000 | 7,819,000  |
| 収 支 差 額       |                           | △4,685,900 | △406,900   | △4,279,000 |
| 前 期 繰 越 金     |                           | 19,885,439 | 19,817,094 |            |
| 次 期 繰 越 金     |                           | 15,199,539 | 19,410,194 |            |

注) 2020年度限定での追加計上



## (資料－5)

# COVID-19研究プロジェクトの共同実施について

共同調査研究計画書（案）

### 研究題目：

「感染症対策下における国民のスポーツ観戦需要に関する研究」

### 調査名称：

「スポーツ観戦需要等に関する調査」

### 調査目的：

感染症対策下における国民のスポーツ観戦需要を縦断的に観察し、今後のスポーツ産業振興の基礎資料を得ることを目的とする。

### 調査主体：

日本スポーツ産業学会(会長:尾山基, 平田竹男)  
早稲田大学スポーツビジネス研究所 (所長: 間野義之 (早稲田大学))

### 調査担当：

澤井和彦 (明治大学), 菅文彦 (大阪成蹊大学),  
桂田隆行 (日本政策投資銀行), 横田匡俊 (日本体育大学), 上林功 (追手門学院大学), 東原文郎 (京都先端科学大学), 庄子博人 (同志社大学), 舟橋弘晃 (早稲田大学), 古川拓也 (大阪成蹊大学)

### 調査時期：

2020年7月24日から隔週で実施。8月7日, 8月21日, 9月4日, 9月18日, 10月2日, 必要に応じてシーズン終了まで継続。

なお, 2020年5月15日より, 早稲田大学スポーツビジネス研究所が継続して実施している調査をもとに, 7月24日以降は共同調査研究とする。

### 調査対象：

全国18歳以上の男女モニター 2,500人程度 (許容誤差: 約2%, 信頼レベル: 95%)

### 調査方法：

インターネット調査 (セルフ型アンケートツール「fastask」)

### 調査会社：

株式会社ジャストシステム

### 調査項目：

- ・スポーツ観戦ニーズ (※スポーツライフデータに合わせる)
- ・試合・競技会等の開催の是非
- ・競技会場の安全性についての認識

・新型コロナウイルス対策についての認知度

・新型コロナウイルス対策についての行動

※詳細は3ページ以降を参照

### データ共有：

日本スポーツ産業学会と早稲田大学スポーツビジネス研究所でデータは共有し, 広く学会員にもデータを配布することで, 学術論文等での発表を促進する。

### 分析方法：

| 従属変数                                   | 独立変数                                                                          |
|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| ■観戦需要<br>・直接観戦希望率<br>・テレビ・インターネット観戦希望率 | ■スポーツ関連<br>・過去のスポーツ観戦<br>・応援しているスポーツチームの有無<br>→スポーツインデックス                     |
| ■開催是非<br>・スポーツ興行の開催是非                  | ■直接・間接観戦に対する認知<br>・ベネフィット<br>・リスク                                             |
|                                        | ■リスク認知関連<br>・状況認知<br>・予防認知<br>・予防リテラシー<br>・リスク認知<br>・健康感<br>・対策認知<br>・リスク認知性格 |
|                                        | ■予防行動<br>・予防行動                                                                |
|                                        | ■デモグラフィクス (デフォルト)<br>・性別<br>・年齢<br>・職業<br>・職種<br>・婚姻歴<br>・子供の有無<br>・都道府県      |

予算：

300万円（35万円/回×6回と予備費）…日本スポーツ産業学会負担

300万円（35万円/回×6回と予備費）…早稲田大学スポーツビジネス研究所

なお、早稲田大学スポーツビジネス研究所は、6月22日時点ですでに4回の調査を実施し140

万円を支出し、さらに6/29、7/10の調査費等を支出する予定。

公表方法：

学会員が学術論文として投稿するとともに、必要に応じてマスメディア各社に単純集計等の調査結果を配布。

問1 このアンケートでは、今日の新型コロナウイルスの感染状況下における、スポーツ興行の開催に関するあなたのお考えや、新型コロナウイルス感染症に関するあなたの行動やお考えなどについて詳しくお伺いする設問があります。以上をご了承いただきアンケートにご回答いただける場合は、「アンケートを開始する」をお選びください。

※回答内容は、個人が特定されない形で統計的に処理されたデータとして扱われますが、回答したくない場合はアンケートに参加しなくても問題ありません。また、途中で回答を止めても問題ありません。

- ・ アンケートを開始する
- ・ アンケートを終了する←選択者はアンケート終了

問2 新型コロナウイルス感染状況を鑑みた場合、以下のスポーツ興行が開催されることについて、『今日の時点』であなたのお気持ちに最も近いものを選択してください。（1. 賛成～5. 反対）

1. プロ野球（NPB）の通常開催（観客がいる状態での開催）
2. プロ野球（NPB）の無観客開催
3. プロ野球（NPB）の縮小開催（入場制限をした開催）
4. プロサッカー（Jリーグ）の通常開催（観客がいる状態での開催）
5. プロサッカー（Jリーグ）の無観客開催
6. プロサッカー（Jリーグ）の縮小開催（入場制限をした開催）
7. プロバスケットボール（Bリーグ）の通常開催（観客がいる状態での開催）
8. プロバスケットボール（Bリーグ）の無観客開催
9. プロバスケットボール（Bリーグ）の縮小開催（入場制限をした開催）
10. 東京オリンピック・パラリンピックの通常開催（観客がいる状態での開催）
11. 東京オリンピック・パラリンピックの無観客開催
12. 東京オリンピック・パラリンピックの縮小開催（入場制限をした開催）

問3 以下の項目について、現在の開催状況に関わらず、あなたの『今』のお気持ちに最も近いものを選択してください。

1. プロ野球をスタジアムや球場で直接観戦したいと思う
2. プロ野球（無観客試合）をテレビや定額制動画配信サービスで観戦したいと思う
3. Jリーグをスタジアムや競技場で直接観戦したいと思う
4. Jリーグ（無観客試合）をテレビや定額制動画配信サービスで観戦したいと思う
5. 高校野球をスタジアムや球場で直接観戦したいと思う
6. 高校野球（無観客試合）をテレビや定額制動画配信サービスで観戦したいと思う
7. ライブ・エンタテインメントのイベントを直接鑑賞したいと思う
8. ライブ・エンタテインメントのイベント（無観客試合）をテレビや定額制動画配信サービスで鑑賞したいと思う

※ライブ・エンタテインメントとは、以下の公演を言います。

ポップス、クラシック、演歌・歌謡曲、ジャズ、演劇、ミュージカル、歌舞伎、能・狂言、日本の伝統音楽（邦楽等）、世界の民族音楽、お笑い・寄席・演芸、バレエ、オペラ、ダンス及びパフォーマンス（1. そう思う～4. そう思わない）

問4 『今後』、スタジアムやアリーナでスポーツの直接観戦をしたいと思いますか。『開催状況にかかわらず』、直接観戦したいと思うものをすべて選択してください。

※過去に観戦していて今後も継続して観戦したいものも含まれます。

- 日本プロ野球 NPB
- 高校野球
- アマチュア野球（大学、社会人など）
- 男子サッカー Jリーグ（J1, J2, J3）
- 女子サッカー なでしこリーグ
- 男子バスケットボール Bリーグ（B1, B2, B3）
- 女子バスケットボール WJBL
- ラグビートップリーグ
- バレーボール Vリーグ
- ハンドボール JHL
- アイスホッケー アジアリーグ
- ホッケー 日本リーグ
- 日本ソフトボールリーグ
- 日本フットサルリーグ
- アメリカンフットボール Xリーグ
- 卓球 Tリーグ
- その他（ ）
- 直接観戦したいスポーツはない

問5 『今後』、テレビでスポーツの観戦をしたいと思いますか。『開催状況にかかわらず』、観戦したいと思うものをすべて選択してください。

※過去に観戦していて今後も継続して観戦したいものも含まれます。

※定額制動画配信サービス（DAZN, パ・リーグTV, Rakuten TVなど）による観戦は含みません。

- 問1と同様+観戦したいスポーツはない

問6 『今後』、定額制動画配信サービス（DAZN（ダゾーン）、パ・リーグTV, Rakuten TVなど）を利用してスポーツの観戦をしたいと思いますか。『開催状況にかかわらず』、観戦したいと思うものをすべて選択してください。

※過去に観戦していて今後も継続して観戦したいものも含まれます。

- 問1と同様+観戦したいスポーツはない

問7 スタジアムやアリーナでのスポーツ観戦をするうえで、『現在』の全国的な新型コロナウイルス感染状況を鑑みた場合、以下のことがどの程度心配ですか。

1. 大勢の人が同じタイミングで集まること
2. 観客の応援行為
3. 会場に行くための移動
4. 待ち行列での待機
5. チケットの購入や受け渡し
6. 観客席での座面・肘置きとの接触
7. 飲食店の店員からの提供
8. 観客席の通路での行き来
9. 陳列しているグッズの購入
10. トイレでの便器や水洗の使用
11. 長時間の同じ席での観戦
12. 不特定多数の人との接触
13. 新型コロナウイルスの感染者が混じってるかもしれないこと

14. 他の都道府県からのファンの来場  
(1 心配である～5 心配ではない)
- ・ 木下富雄「リスク認知の構造とその国際比較」安全工学 41(6), 356-363, 2002-12-15
  - ・ 新山陽子, 春日文子, 筒井俊之「リスク認知はどのようになされているか」獣医疫学雑誌 10(2), 57-71, 2006-12-12

問8 以下の項目について、あなた自身のお考えに最も近いものをそれぞれ選択してください。

1. 新型コロナウイルス感染症について、新聞、本、テレビ、インターネットなど、いろいろな情報源から情報を集められる。
  2. 新型コロナウイルス感染症について、たくさんある情報の中から、自分の求める情報を選び出せる
  3. 新型コロナウイルス感染症について、情報がどの程度信頼できるかを判断できる
  4. 新型コロナウイルス感染症について、情報を理解し、人に伝えることができる
  5. 新型コロナウイルス感染症について、情報をもとに予防のための計画や行動を決めることができる
  6. スタジアムやアリーナに行くことによる感染は怖いと思う
  7. スタジアムやアリーナでは、感染予防対策はしっかりしていると思う
  8. あなたは現在、健康だと思いますか
  9. ジョギングをするときにはマスクを着用するべきである
  10. 新型コロナウイルスに感染するのは自己責任である
  11. 新型コロナウイルスによる死者をひとりも出さないように対策すべきだと思う
  12. 新型コロナウイルスは恐ろしい
  13. 新型コロナウイルスのリスクの発生をコントロールできない
  14. 新型コロナウイルスは世界的に大きな影響がある
  15. 新型コロナウイルスは人類の生命が脅かされる
  16. 新型コロナウイルスのリスクを小さくすることが難しい
  17. 新型コロナウイルスのリスクが増大する傾向にある
  18. 新型コロナウイルスは自分の意思でリスクを避けることができない
  19. 新型コロナウイルスは目に見えない
  20. 新型コロナウイルスは身近な人に関係がある
  21. 新型コロナウイルスはリスクの影響が表面化するまでに時間がかかる
  22. 新型コロナウイルスは新しい
  23. 新型コロナウイルスは馴染みがない
  24. 新型コロナウイルスは科学的に解明されていない
  25. 新型コロナウイルスについては専門家の間で意見が分かれている
- (1 非常にそう思う～ 6 まったくそうは思わない)
- ・ 後藤英子他,日本人男性労働者におけるヘルスリテラシーと生活習慣、主観的健康感との関連,2017

#### 【参考文献】

- ・ 三島和子「新型インフルエンザのリスク認知とリスクコミュニケーションのあり方に関する調査研究」日本リスク研究学会誌 20(1), 59-68, 2010
- ・ 佐藤祐佳「鳥インフルエンザに対する地域住民と養鶏農家のリスク認知の違い」日本公衆衛生雑誌 62(3), 117-124, 2015 [https://www.jstage.jst.go.jp/article/sraj/20/1/20\\_1\\_59/\\_pdf/-char/en](https://www.jstage.jst.go.jp/article/sraj/20/1/20_1_59/_pdf/-char/en)
- ・ 勝見吉彰「社会考慮と新型インフルエンザ（A/H1N1）に対する態度との関連」人間と科学 11(1), 79-87, 2011-03
- ・ 海後宗男, 康 雪梅, 蔡 莉 [他]「A型H1N1亜型インフルエンザ報道の影響に関する研究」筑波大学地域研究(32), 59-80 [含 英語文要旨], 2011
- ・ 日本原子力文化財団「第2章 質問票の設計 (2017年度 原子力に関する世論調査)」
- ・ 広瀬弘忠, Slovic Paul, 石塚智一「大学生のリスク認知に関する日米比較研究」社会心理学研究 9(2), 114-122, 1994

以 上

# スポーツICT研究会開催報告

## ○スポーツICT研究会（7月20日&22日）

テーマ：「これからのスポーツ産業のあり方と  
ICTの役割」

■日時：2020年7月20日(月)18時30分～20時00分

■場所：オンライン

■「北谷賢司×間野義之～これからのスポーツ観戦環境を占う～」

- ・これからの時代に求められるスタジアム&アリーナ
- ・スポーツ観戦とエンターテインメントのDX

■登壇者：

- ・北谷賢司（米AEG アジア担当EVP兼日本代表、金沢工業大学虎ノ門大学院、ワシントン州立大学教授）
- ・間野義之（早稲田大学教授）

■司会：中村好男（早稲田大学教授、日本スポーツ産業学会運営委員長）

■参加申込者数：417人

■日時：2020年7月22日(水)18時30分～20時00分

■場所：オンライン

■「スタジアムアリーナ（スポーツ観戦環境）のDX」

- ・スポーツ観戦環境の新たな視点
- ・スポーツ観戦の再創造

■登壇者：

- ・上林 功（追手門学院大学准教授）
- ・木下真吾（NTTサービスエボリューション研究所 主席研究員 プロジェクトマネージャ・研究部長）
- ・木谷 靖（株式会社NTTぷらら 経営企画部 部長 兼 広報室長）
- ・西條芳克（日本電気株式会社 トレード・サービス業ソリューション事業部）
- ・河本敏夫（株式会社NTTデータ経営研究所 ビジネストランスフォーメーションユニット アソシエイトパートナー）

■司会：中村好男（早稲田大学教授、日本スポーツ産業学会運営委員長）

■参加申込者数：397人

## 事務局より

### 〈2020年度年会費納入のお願い〉

現在、2020年度年会費（正会員・7,000円、学生会員2,000円）の納入受付をしております。どうぞ宜しくお願い致します。

〔郵便振替〕 口座番号      00160-1-600893  
加入者名      日本スポーツ産業学会

〔銀行口座〕 ①三菱UFJ銀行 東京公務部 普通口座    3572697  
                 ②三菱UFJ銀行 神田支店    普通口座    1198315

### 〈新会員紹介のお願い〉

日本スポーツ産業学会の会員数は、現在、個人会員が約600名、賛助会員が15団体、法人会員が11団体です。本学会は、設立理念にもありますように、産業界、学界、官界と幅広い分野から会員を募り学会活動を進めています。学会の趣旨に賛同し、ともに研究を進める仲間を募っています。下記事務局にご紹介頂ければ幸いです。

日本スポーツ産業学会事務局

〒202-0021 東京都西東京市東伏見2丁目7番5号  
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室  
早稲田大学スポーツビジネス研究所内  
TEL/FAX：042-461-1241  
E-mail：jssi@spo-sun.gr.jp  
<https://spo-sun.gr.jp/>



## 「スポーツ産業学研究」原稿募集

「スポーツ産業学研究」の原稿を募集します。奮って寄稿されるようご案内致します。

1. 原稿の種類 フォーラム，原著論文（総合研究，理論研究，事例研究，調査研究），研究ノート，書評，アゴラなど。
2. 原稿の採否 編集委員会により投稿分類の妥当性および査読の可否を判定した後に査読委員が選ばれ査読が依頼される。その査読結果をもとに編集委員会は原稿の採否を決定し，その結果を投稿者に通知する。
3. 提出する原稿 メール添付ファイル（ワードかPDF，図表はエクセル可）で送付のこと。
4. 論文の送付先 〒202-0021 東京都西東京市東伏見2丁目7番5号  
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室  
早稲田大学スポーツビジネス研究所内  
日本スポーツ産業学会編集委員会
5. 執筆方法 「スポーツ産業学研究」投稿規定（学会ホームページ）を参照。

日本スポーツ産業学会 「学会ニュースNo115」

発行日：2020年10月1日

発行者：日本スポーツ産業学会理事長 北村 薫

編集者：児玉ゆう子，中村 好男，磯貝 浩久，元 晶煜  
岡 浩一郎，梶川 裕矢，越川 茂樹，藤田 康範  
藤本 淳也，金子佐知子（事務局）

事務局：〒202-0021

東京都西東京市東伏見2丁目7番5号  
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室  
早稲田大学スポーツビジネス研究所内  
日本スポーツ産業学会事務局

TEL：042-461-1241

E-mail：jssi@spo-sun.gr.jp

<https://spo-sun.gr.jp>